

令和５年度なごや子ども応援委員会の相談等対応の状況について

なごや子ども応援委員会は、常勤の専門職を学校現場に配置し、さまざまな悩みや心配を抱える子どもや親を総合的に支援し、子どもの目の前の進路にとどまらず将来の針路を応援するための取り組みを推進しています。

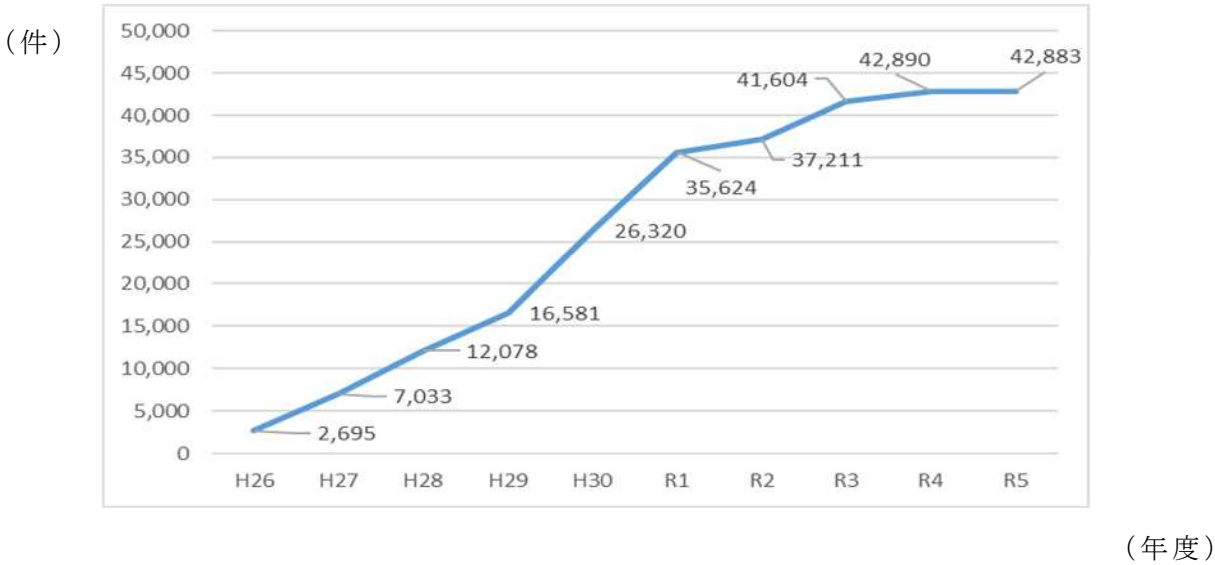
令和５年度 相談等対応における傾向

- 相談等対応件数は４２，８８３件で、前年度４２，８９０件と、ほぼ同数となりました。また、設置当初から１０年間の合計は、２６万４，９１９件となりました。
- 内容別では、「不登校」が最も多く、次に「心身の健康・保健」が続き、３番目は「家庭環境」となっています。

○令和５年度子ども応援委員会の人員体制（学校現場に配置の職員）（人）

区分	総合 援助職 (常勤・定年制)	スクール カウンセラー (常勤・任期付)	スクール ソーシャルワーカー (常勤・任期付)	スクール セクレタリー (非常勤)	スクール ホリス (非常勤)	計
人数	３７	８４	２０	１７	１７	１７５

○相談等対応件数の推移



令和５年度 なごや子ども応援委員会の相談等対応の状況

１ 相談等対応件数 (件)

区分	５年度
件数	42,883

(４年度： 42,890 件)

【26～5 年度計： 264,919 件】

２ 相談等対応の対象児童・生徒数 (実数) (人)

区分	小学生	中学 １年生	中学 ２年生	中学 ３年生	高校生	その他	計
人数	1,575	1,795	1,608	1,323	141	23	6,465

(４年度： 6,889 人)

【26～5 年度計： 43,185 人】

３ 相談者種別の相談等対応件数 (延べ数) (件)

区分	児童・生徒	保護者	教職員	関係機関等
件数	27,011	16,027	17,420	3,680

※「教職員」と「児童・生徒」、「児童・生徒」と「保護者」など、同時に対応する場合があります、合計数は「１ 相談等対応件数」と合致しない。

４ 内容別の相談等対応件数 (件)

内容	不登校	いじめ 問題	暴力 行為	児童 虐待	友人 関係	貧困の 問題	ヤング ケアラー
件数 (件)	15,551	1,000	231	1,214	3,312	96	212

非行・ 不良行為	家庭 環境	教職員と の関係	心身の 健康・ 保健	学業・ 進路	発達 障害等	その他	計
387	5,295	527	9,165	1,127	3,618	1,148	42,883